



4年生は、様々な教科でタブレット学習を取り入れています。その中のいくつかを紹介します。

◎国語科「ごんぎつね」

半田市教育委員会が作成した小学校用デジタル教材「ごんぎつねものしり図鑑」を活用して、家庭で意味調べの予習をしました。

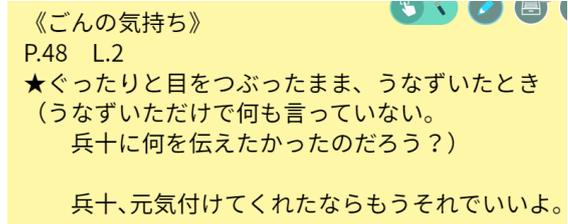
<https://www.handac.ed.jp/monoshiri/index.html>

また、授業で話し合いたい課題(登場人物の気持ち等)を考え、ロイロノートで提出しました。さらに、各場面の課題に対する自分の考えを家庭で予習して、授業前にロイロノートで提出することで、授業での話し合いが活発となりました。

今後も家庭で予習、授業で復習という学び方を上手に取り入れながら、子供たちが各教科の学びで求められる力を伸ばしていってくれることを願っています。



【「ごんぎつねものしり図鑑」】



【ロイロノートで提出した予習カードの一例】

◎図工「へんてこ山の物語」

文書作成ソフト Pages を活用して、自分の図工作品の解説書を作りました。テンプレートがあるため、写真と文書を挿し込んでいけば、大丈夫です。注目してほしいところの拡大写真を載せたり、工夫したところを記述したり、工夫して解説書を作成できました。

へんてこ山の物語

私の作品は天気山で天気旅行です。見てほしいポイントが3つあります。1つ目は大きな虹です。分かりやすい色にするために、色作りを頑張りました。2つ目は夜空のスパッタリングです。水色と黄色の星が紺色の夜空に映えて綺麗だと思います。3つ目はカラフルな色使いです。天気はいつも違うしカラフルだから元気な色使いにしてみました。なので是非私の作品を見て欲しいです。



【Pages 解説書の例】

また、ロイロノートを活用して、普段から、図工作品の写真や書いた文章を提出箱に提出して、友達と共有しています。互いに伝え合いや認め合いをすることができるよさがあります。今後も様々な教科等で活用していきたいと思います。

【校内情報教育部会より】

「ごんぎつねものしり図鑑」を活用した意味調べは、自分が気になることを調べたり、調べたことで新たな疑問をもったりするなど、主体的で効果的な学びとなりました。他市や他校の先行事例をスムーズに取り入れられることも、タブレット学習の魅力です。

今後も様々な学習支援ソフトや先行事例を参考にしながら、猿渡っ子に合ったタブレット学習を模索していきましょう。